

# 平成19年度予算の概要

問い合わせ：財政課財政担当・TEL内線2311



川越市長 舟橋功一

地方財政を取り巻く環境は依然として厳しく、本市においても、景気回復の影響などにより税収の増加は見込まれるもの

の、所得譲与税の廃止などにより、一般財源総額の大幅な増加は期待できない状況にあります。

このような財政状況を踏まえ、新年度予算では、財源の積極的な確保と合理化・効率化による歳出削減を図り、限られた財源の重点的配分を行うことで、市民の皆様が生き生きと安全で安心して暮らせる、中核市として地域経済をリードする活力に満ちたまちづくりを目指すものいたしました。

さらなる市政の発展のため、市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

\*「平成19年度予算の概要」では、完成前の施設・制定前の条例に付く（仮称）を省略しています。

\*「平成19年度の川越市予算説明書」は、財政課（本庁舎四階）・図書館・公民館でご覧になれます。

## 平成19年度予算規模

一般会計	927億5,000万円	(前年度比5.8%増)
特別会計	805億3,021万4,000円	(前年度比0.7%増)
総計	1,732億8,021万4,000円	(前年度比3.4%増)

### 一般会計の概要

平成十九年度予算では、財源を積極的に確保しつつ、限られた財源の中でさまざまな行政課題に対応するため、効率的な財源の配分を行いました。特に、市民の皆さんの多様な要望や重要課題を解決するための各種施策・事業に対して、重点的な予算の配分を行いました。

一般会計の当初予算額は、九百二十七億五千万円です。前年度当初予算対比で五十一億二千万円、5・8パーセント増加しました。

### 歳入について

市税は、市民税などの増収が見込まれることから、前年

度当初予算対比で五十二億五百六十九千円増加しました。

地方譲与税は、所得譲与税が廃止されたため、前年度当初予算対比で二十三億七千七百九万二千円減少しました。

地方交付税は、普通交付税の交付が見込まないことから、特別交付税の三億五千万円を計上しました。

国庫支出金は、障害者自立支援法に基づく制度改正に伴う国庫負担金の減少が見込まれることから、前年度当初予算対比で四億四千四百四十九万円減少しました。

市債は、新清掃センター建設事業債、高階地区公共施設整備事業債などの増加のため、前年度当初予算対比で二十二億七千八百八十万円増加しました。



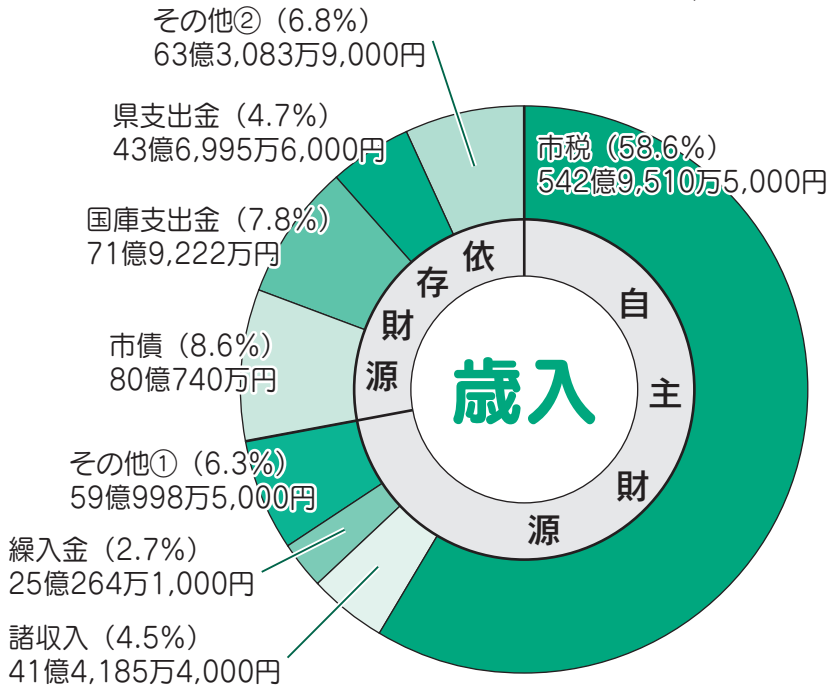
#### ①一般会計と特別会計

一般会計とは、市の中心的な会計のことで、行政運営の基本的な経費を計上したものです。一方、特定の事業について、特定の歳入と歳出を一般会計と区分して経理するものを特別会計といいます。

# 一般会計 歳入

927億5,000万円  
(100%)

- 自主財源 (72.1%)  
668億4,958万5,000円
- 依存財源 (27.9%)  
259億41万5,000円



## 歳入の用語解説

市税 (前年比10.6%増)

市民の皆さんが市に納める税金

諸収入 (前年比2.2%減)

預金利子や雑収入など

繰入金 (前年比20.7%減)

一般会計の不足分などを補うために、基金などから繰り入れるお金

その他①

主な内訳は次のとおりです

繰越金 = 23億円

使用料・手数料 = 17億263万9,000円

財産収入 = 10億3,759万円

市債 (前年比39.8%増)

事業のために、国などから借り入れるお金

国庫支出金 (前年比5.8%減)

特定の事業の財源として国から交付されるお金

県支出金 (前年比74.7%増)

特定の事業の財源として県から交付されるお金

その他②

主な内訳は次のとおりです

地方消費税交付金 = 28億8,727万円

地方譲与税 = 9億4,500万円

自動車取得税交付金 = 7億6,000万円

## 予算の はてな ?

### ②自主財源と依存財源

市税など、市が自前で確保することができるお金を自主財源といい、国庫支出金や市債など、ほかに依存するお金を依存財源といいます。一般に、自主財源が多い方が財政の安定度は高いとされています。

## 歳入について

### 地域振興ふれあい拠点施設整備

地域産業の振興や活性化を図るとともに、地域の皆さんの活動・交流を促進し、にぎわいの創出を図る施設として、県と共同して整備を進めます。建設に当たっては、民間の技術や資金を活用した事業手法を予定しています。

### 子育て支援

安心して子育てができるように、児童手当の拡充・家庭保育室保育料の軽減・民間保育所への補助などを行います。

### 地球温暖化対策

地球温暖化対策の一環として、条例制定のための具体的な検討を進め、今年度中の制定を目指します。また、住宅用太陽光発電システムや屋上緑化・壁面緑化への補助金交付も継続して行います。

### ごみの減量化・資源化の推進

不要なレジ袋を断る「マイバッグキャンペーン」や、せんだ枝粉砕機を貸し出しすることにより、ごみの減量・資源化を図ります。

### 観光振興

観光客一千万人を目指し、

観光キャンペーンや「川越ファン」の募集などを推進します。また、中心市街地について、その「にぎわい」と「活力」を創出するため、鏡山酒造跡地の整備・活用を図ります。

### 本川越駅周辺および中央通り地区整備

本川越駅周辺地区については、駅西口の開設・駅前広場およびアクセス道路の早期実現に向け事業を推進します。中央通り地区については、土地区画整理事業としてまちづくりを推進します。

### 災害対策

災害備蓄庫などの整備・充実を図るとともに、川越市地域防災計画の見直し・危機管理体制の整備を推進します。

### 学校教育

川越市さわやか相談員などの配置やいじめ電話相談を行い、教育にかかわる相談の充実を図ります。また、児童生徒の科学に対する興味や関心を高める「川越市科学わくわくラーニングプログラム」と、走ることを通して運動することの喜びを体験する「トップアスリートふれあい事業」を実施します。